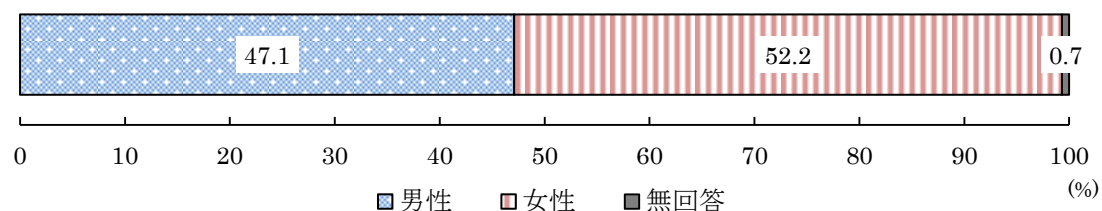


Ⅱ 調査結果

1 性別 (n=1,176)

問1. あなた自身についてお聞きします。

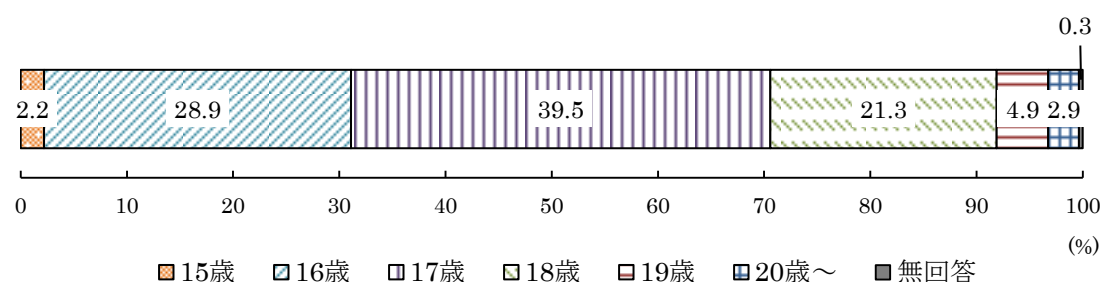
(1) あなたの性別を教えてください。(○を1つつける)



回答者の性別は、「男性」47.1%、「女性」52.2%となっている。

2 平成22年4月1日現在の年齢 (n=1,173)

(2) あなたの生年月日を教えてください。(枠内に記入)

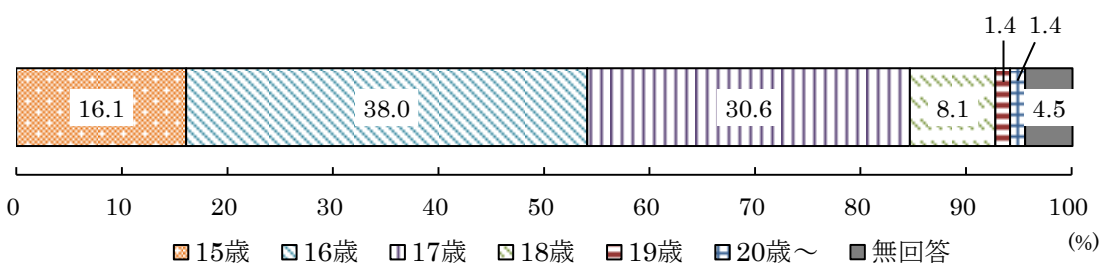


回答者の年齢は、15歳～19歳が96.8%となっている。

(注) 調査票では生まれた年及び月を聞いているが、集計及び分析に当たっては、平成22年4月1日現在の学年年齢に変換している。

なお、学年年齢に変換した際に高校に入学できる最少年齢(15歳)に満たなかった者について、無効回答として本集計のnから除いている。

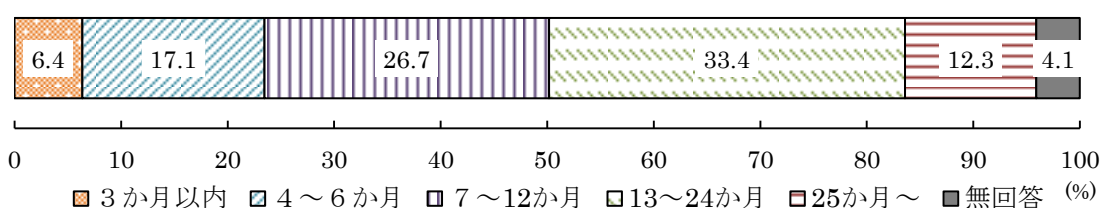
(参考) 中退時の年齢 (n=1,168)



(注) 調査票では生まれた年及び月(問1(2))と中退した時期(問1(3))を聞いているが、集計及び分析に当たっては、問1(2)及び問1(3)から中退時の年齢を算出している。

3 平成 22 年 9 月時点での中退後経過期間 (n=1, 176)

(3) 中退した時期を教えてください。(枠内に記入)

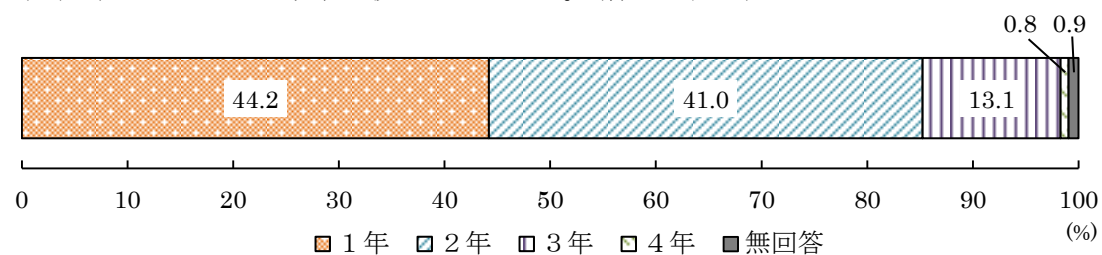


中退後経過期間は、24 か月以内（中退後概ね 2 年以内）の者が 83.6%となっている。

(注) 調査票では中退した時期を聞いているが、集計及び分析に当たっては、平成 22 年 9 月時点での中退後経過期間に変換している。

4 中退時の学年 (n=1, 172)

(3) 中退したときの学年を教えてください。(枠内に記入)



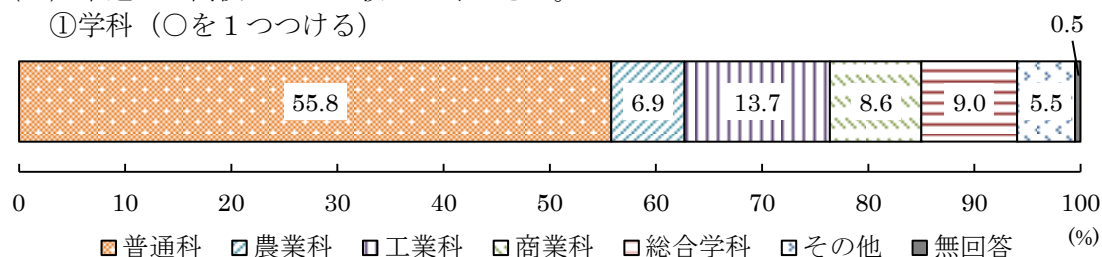
中退時の学年は、「1 年」及び「2 年」の合計で 85.2%となっている。

(注) 集計及び分析に当たっては、「平成 22 年度学校基本調査」(文部科学省)の修行年限に関する結果を基に、①中退時の学年「4 年」かつ中退した高校の課程(問 1 (4))「全日制」と回答した者、②中退時の学年「5 年」、「6 年」又は「7 年」と回答した者について、無効回答として本集計の n から除いている。

5 中退した高校の学科 (n=1, 174)

(4) 中退した高校について教えてください。

①学科 (○を1つつける)

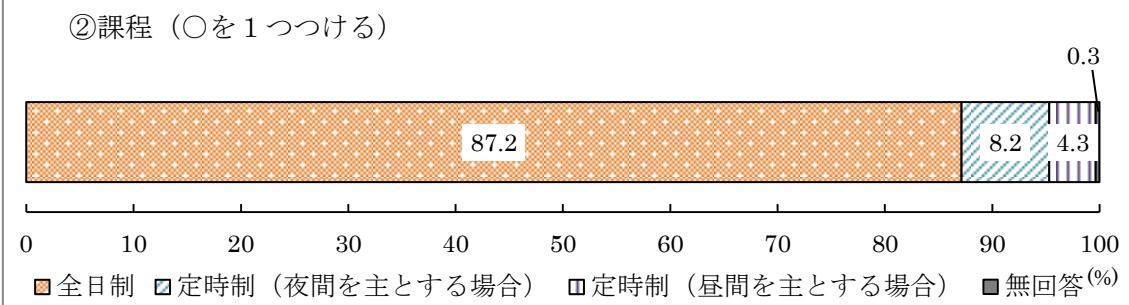


回答者の中退した高校の学科で最も多いのは、「普通科」の55.8%となっている。

(注) 集計及び分析に当たっては、「平成21年度学校基本調査」(文部科学省)の高等学校及び中等教育学校(後期課程)の学科コード表を基に、「その他」の記述内容から「農業科」、「工業科」及び「商業科」に該当する学科が記載されている場合には、当該学科のnに含めている。

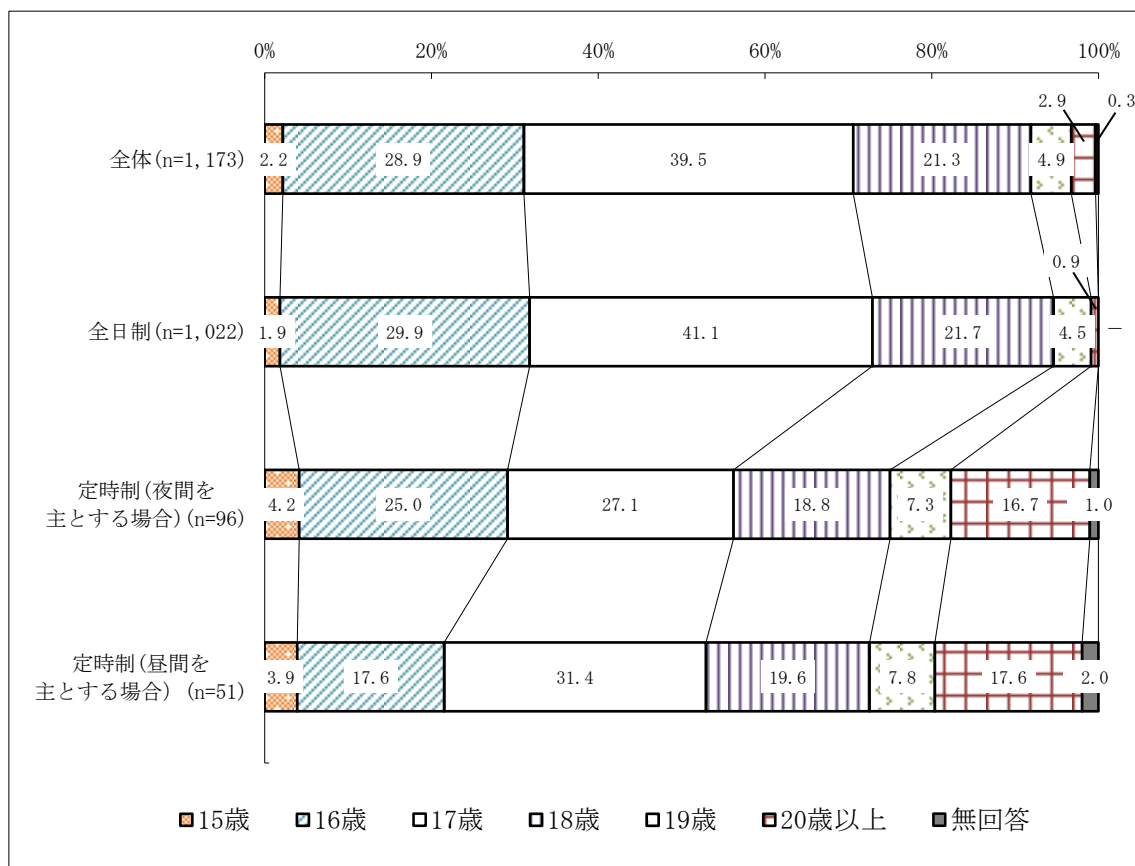
6 中退した高校の課程 (n=1, 176)

②課程 (○を1つつける)



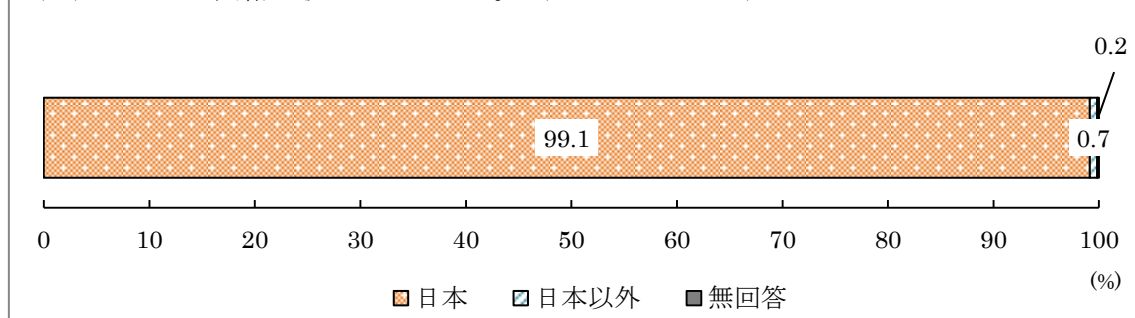
回答者の中退した高校の課程で最も多いのは、「全日制」の87.2%となっている。

(参考)「中退した高校の課程」と「平成 22 年 4 月 1 日現在の年齢」との関係



7 国籍 (n=1,175)

(5) あなたの国籍を教えてください。(○を1つつける)



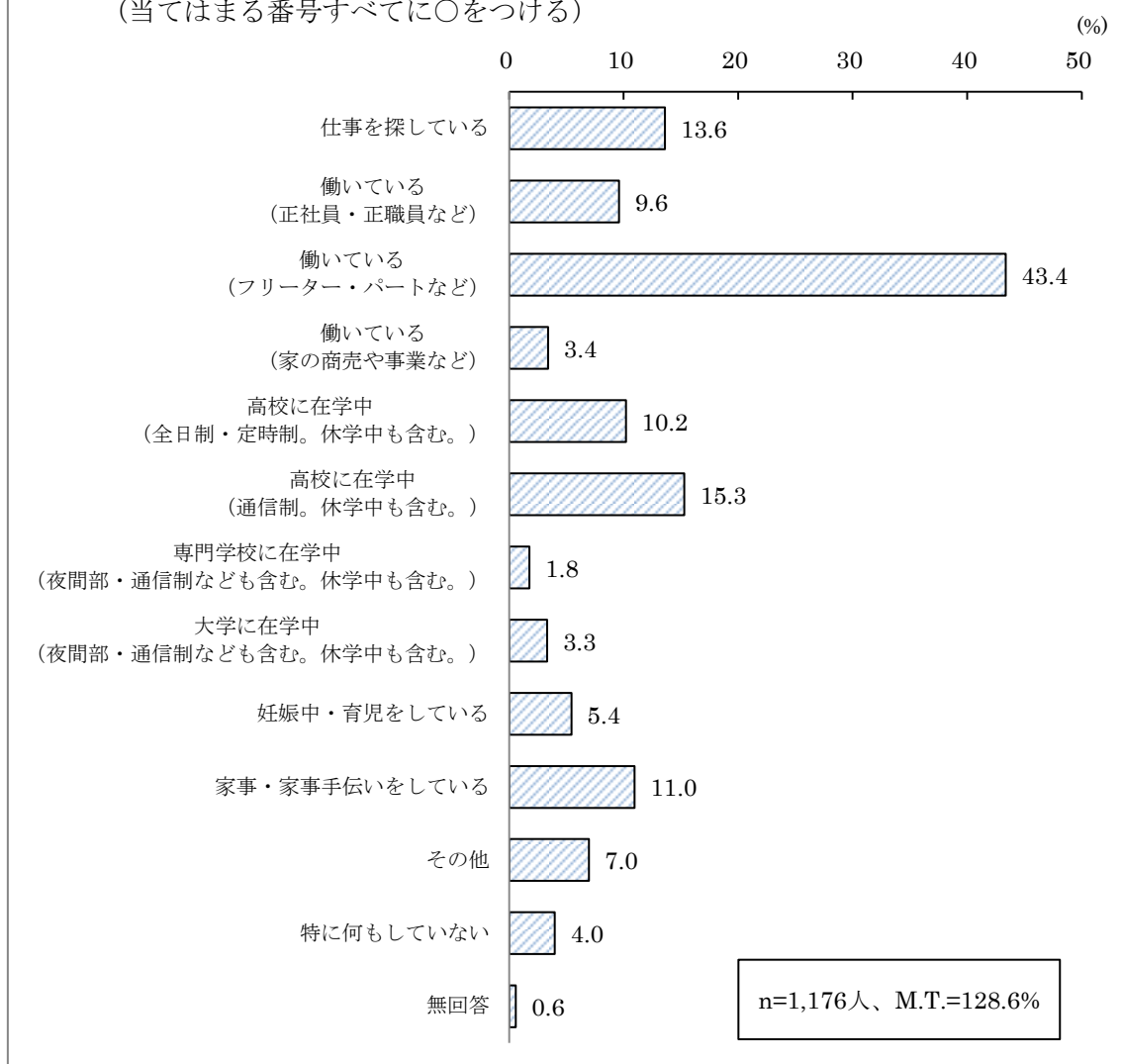
回答者の国籍は、「日本」99.1%となっている。

8 現在していること（複数回答）

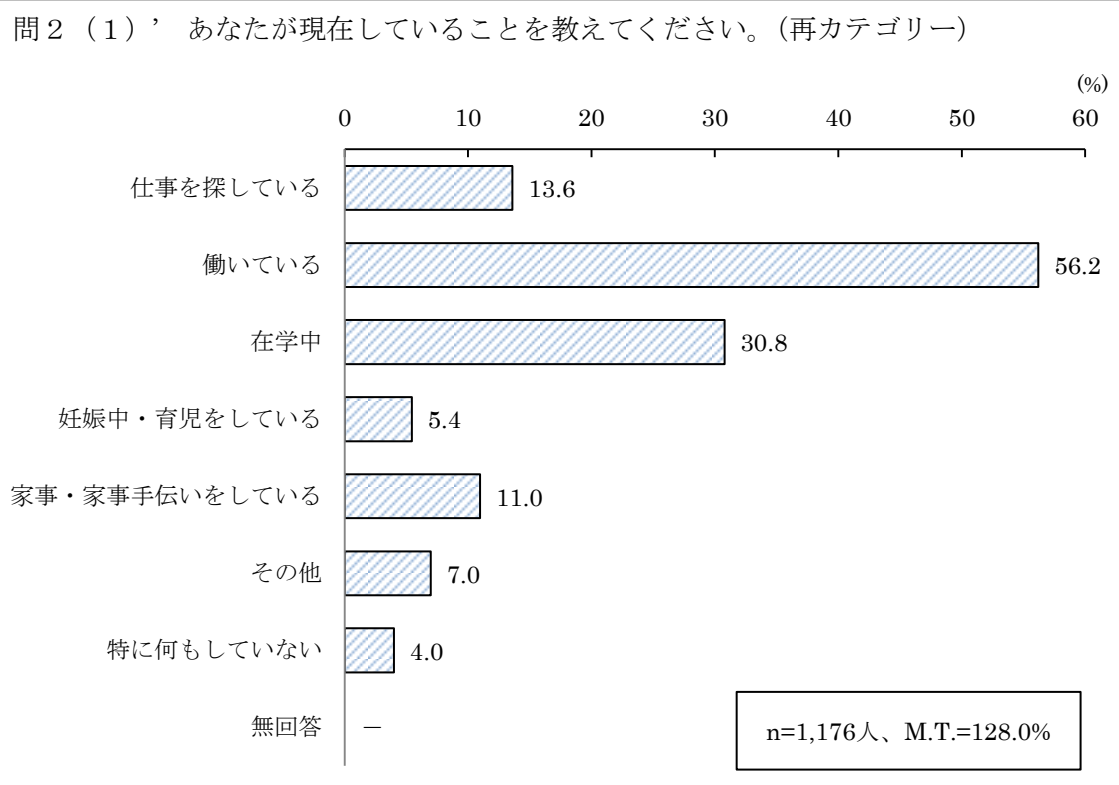
問2. あなたが現在していることについてお聞きします。

(1) あなたが現在していることを教えてください。

(当てはまる番号すべてに○をつける)



現在していることは、「働いている（フリーター・パートなど）」43.4%が最も多くなっている。



現在していることは、「働いている」56.2%、次いで「在学中」30.8%となっている。

(注) 集計及び分析に当たっては、問 2 (1) ’ として、「問 2 (1) 現在していること」を再カテゴリーした。「問 2 (1) 現在していること」の選択肢と「問 2 (1) ’ 現在していること (再カテゴリー)」との対応関係は次のとおりである。

なお、問 2 (1) ’ では、問 2 (1) を回答せずに問 2 (2) ～ (4) のいずれかに回答している者についても、(2) ～ (4) の回答問から類推して、「働いている」「在学中」「特に何もしていない」にカテゴリーしているため、問 2 (1) の n とは一致しない。

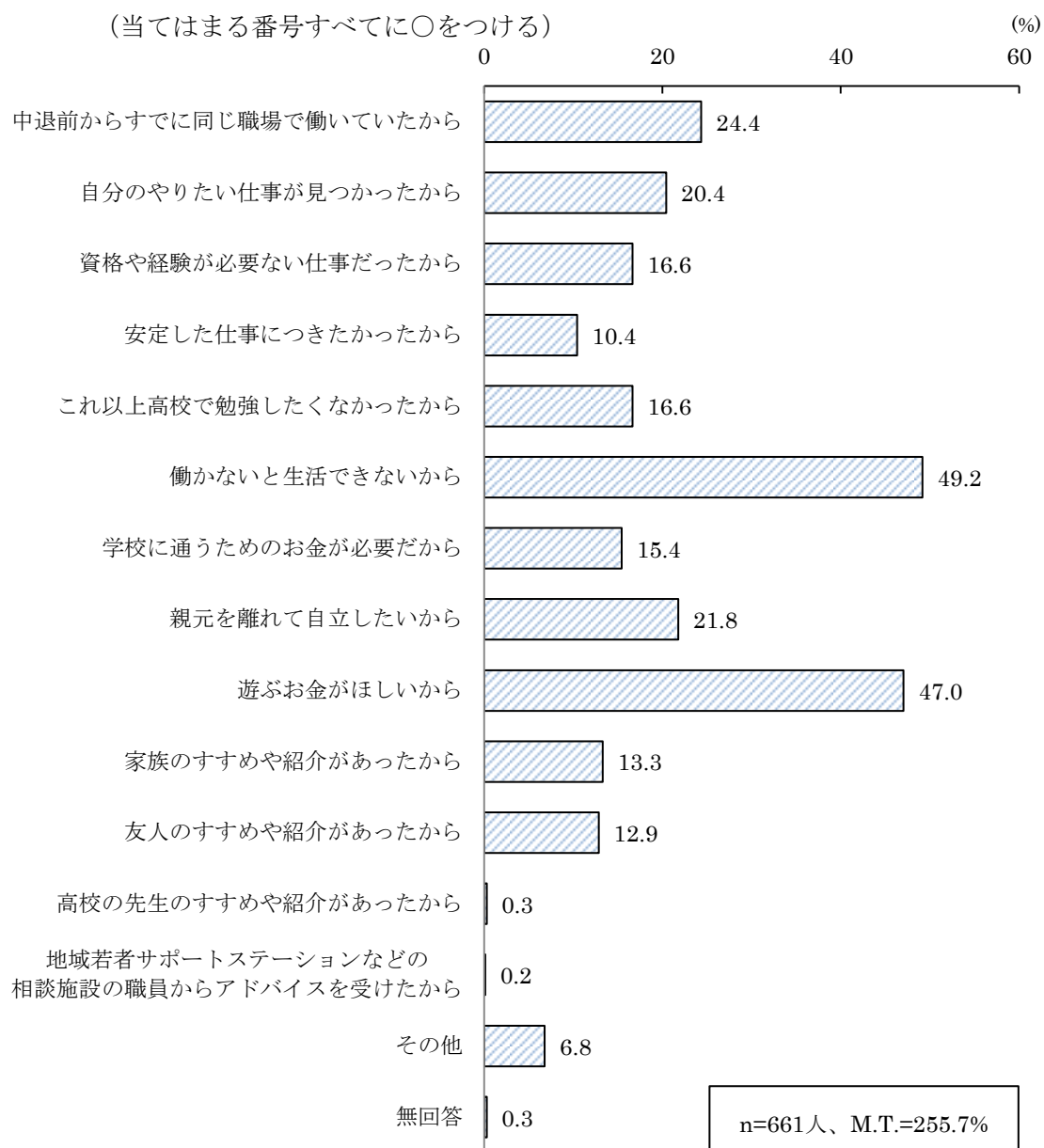
問2(1)	問2(1)'
1 仕事を探している	仕事を探している
2 働いている(正社員・正職員など)	働いている
3 働いている(フリーター・パートなど)	
4 働いている(家の商売や事業など)	
5 高校に在学中(全日制・定時制。休学中も含む。)	在学中
6 高校に在学中(通信制。休学中も含む。)	
7 専門学校に在学中(夜間部・通信制なども含む。休学中も含む。)	
8 大学に在学中(夜間部・通信制なども含む。休学中も含む。)	
9 妊娠中・育児をしている	妊娠中・育児をしている
10 家事・家事手伝いをしている	家事・家事手伝いをしている
11 その他	その他
12 特に何もしていない	特に何もしていない

9 今の仕事をしている理由（複数回答）

【（１）で、選択肢２～４「働いている」を選んだ方にお聞きします】

（２）今の仕事をしている理由を教えてください。

（当てはまる番号すべてに○をつける）



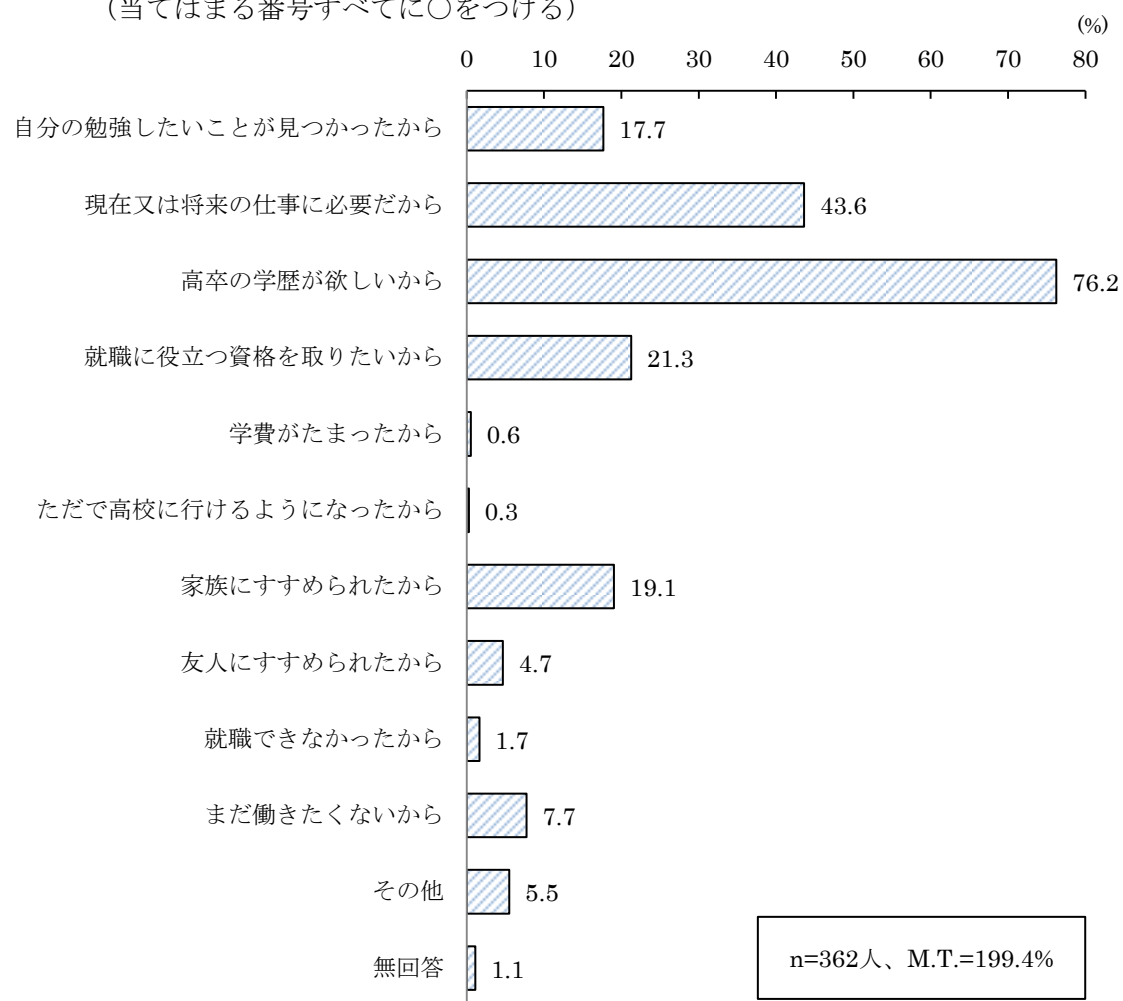
今の仕事をしている理由は、「働かないと生活できないから」49.2%、「遊ぶお金がほしいから」47.0%となっている。

10 別の学校に入学したきっかけ（複数回答）

【（１）で、選択肢５～８「在学中」を選んだ方にお聞きします】

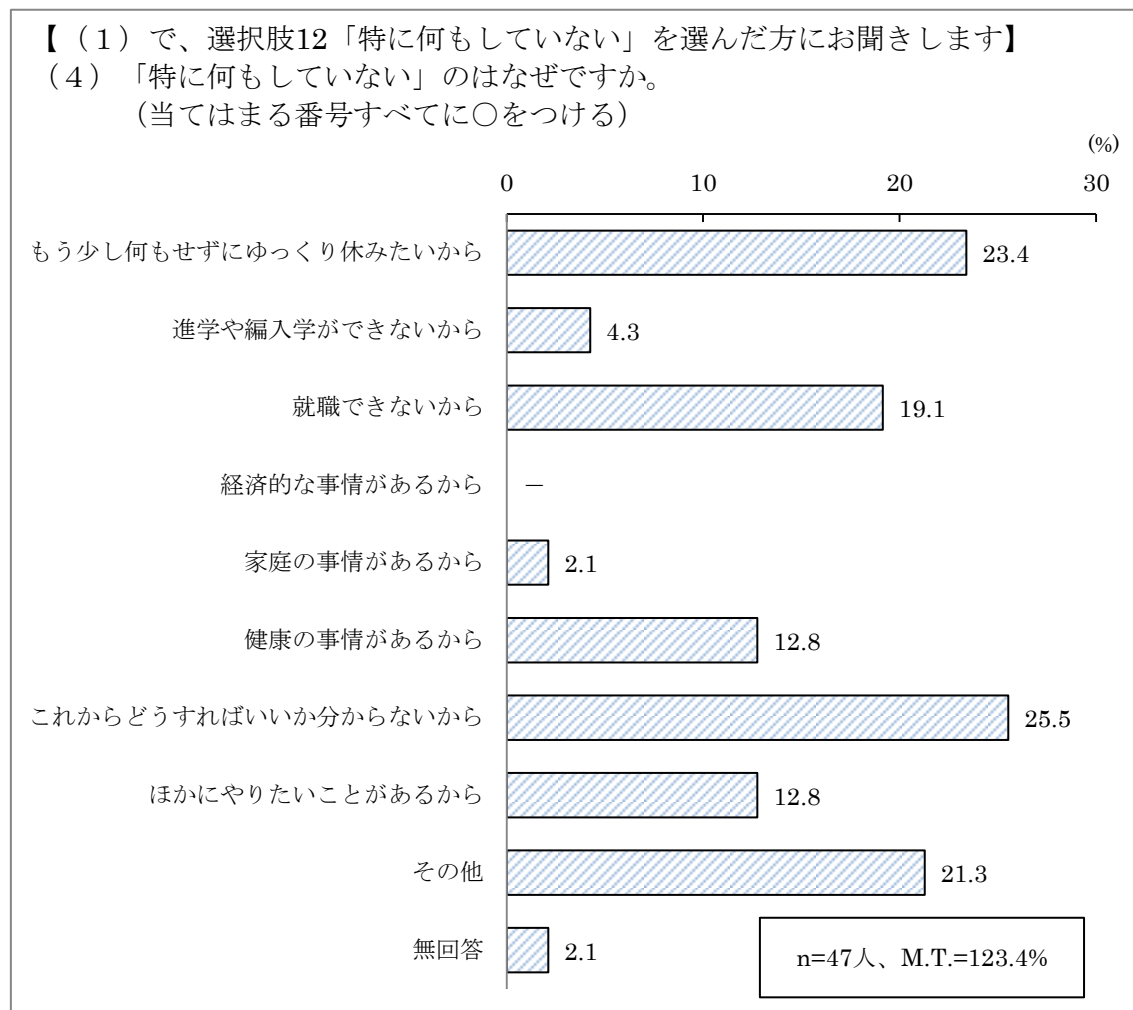
（３）進学したきっかけを教えてください。

（当てはまる番号すべてに○をつける）



別の学校に入学したきっかけは、「高卒の学歴がほしいから」76.2%となっている。

11 「特に何もしていない」理由（複数回答）



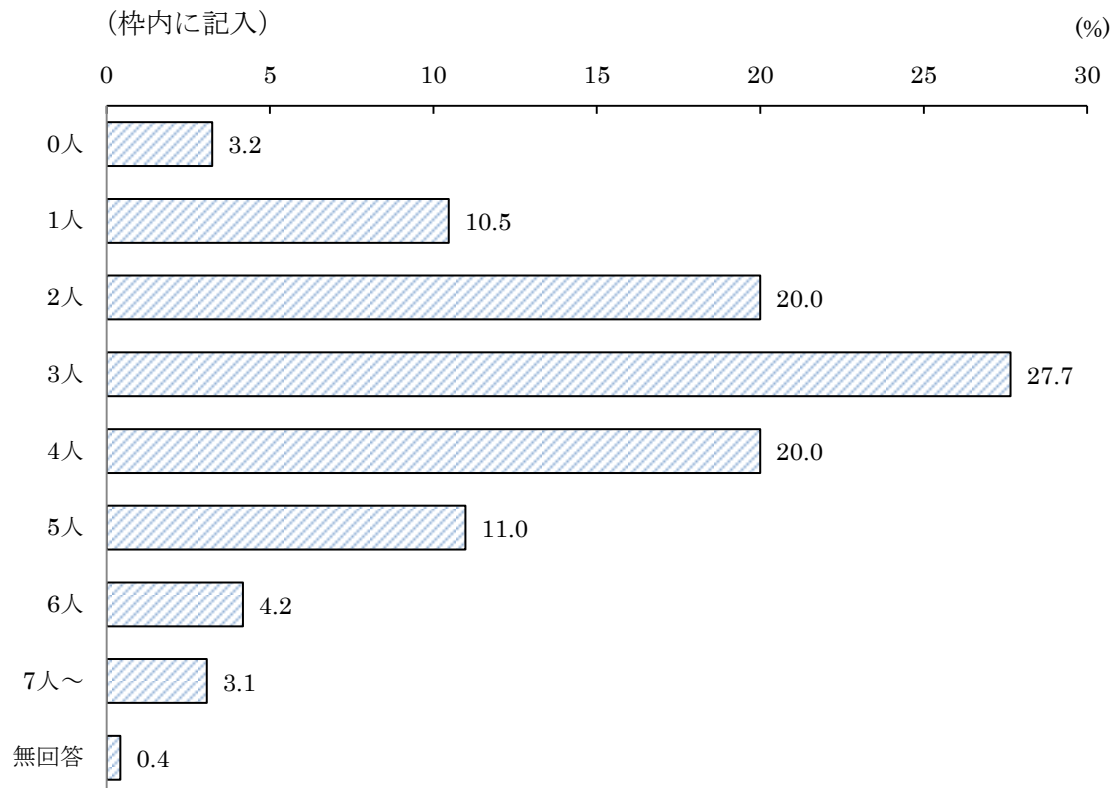
「特に何もしていない」理由は、「これからどうすればいいか分からないから」25.5%、「もう少し何もせずにゆっくり休みたいから」23.4%となっている。一方で、「家庭の事情があるから」と回答した者は2.1%となっている。

13 同居している家族の人数（本人を除く。）（n=1,175）

問3. あなたのご家族についてお聞きします。

（1）現在、同居している家族の方は、あなたを除いて何人ですか。

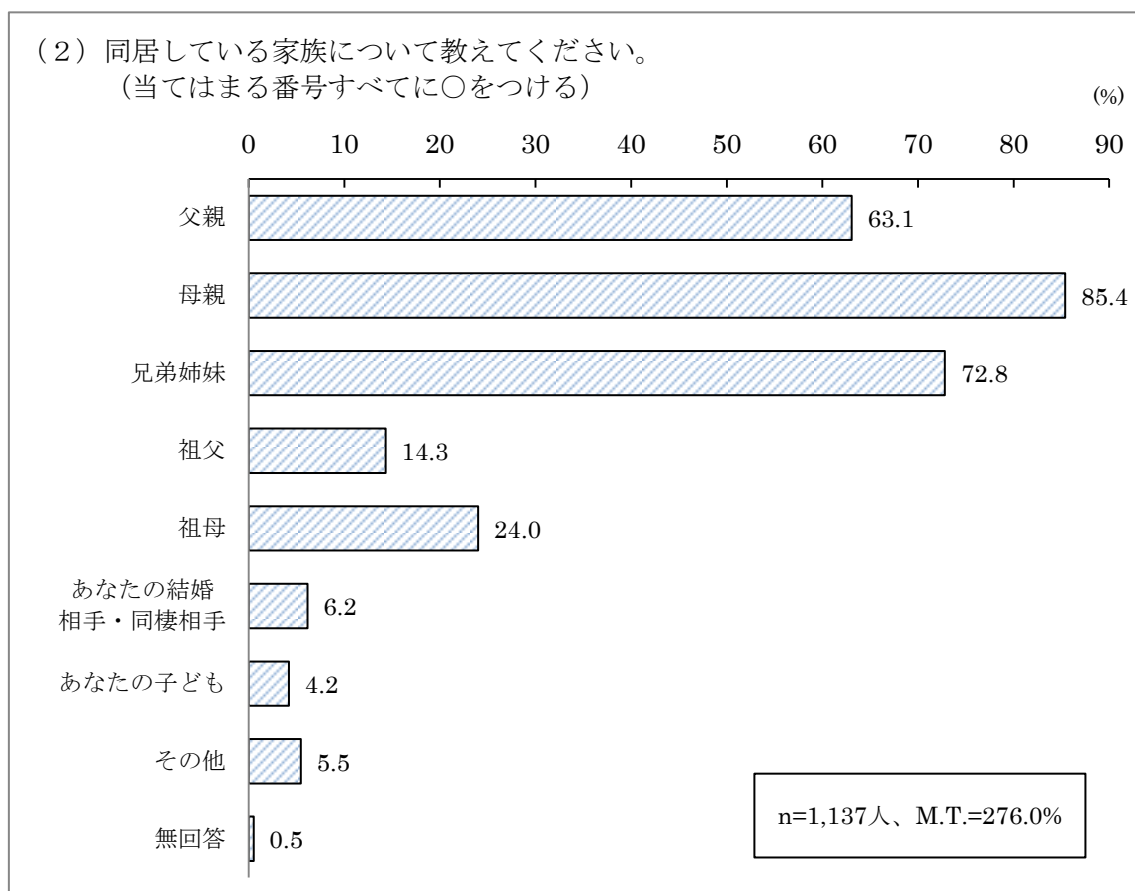
（枠内に記入）



本人を除いた同居している家族の人数は、「3人」が最も多く 27.7%であり、同居している家族の人数が0人である（ひとり暮らしをしている）者は 3.2%となっている。

（注）集計及び分析に当たっては、問3（2）にひとり暮らしである旨回答している者について、同居している家族の人数「0人」のnに含めている。

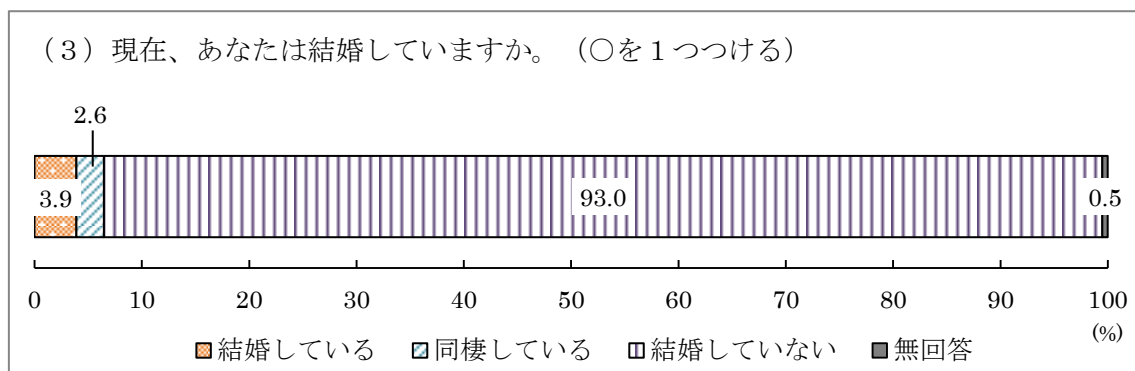
13 同居している家族（複数回答）（n=1,175）



同居している家族は、「母親」85.4%、「兄弟姉妹」72.8%、「父親」63.1%となっている。

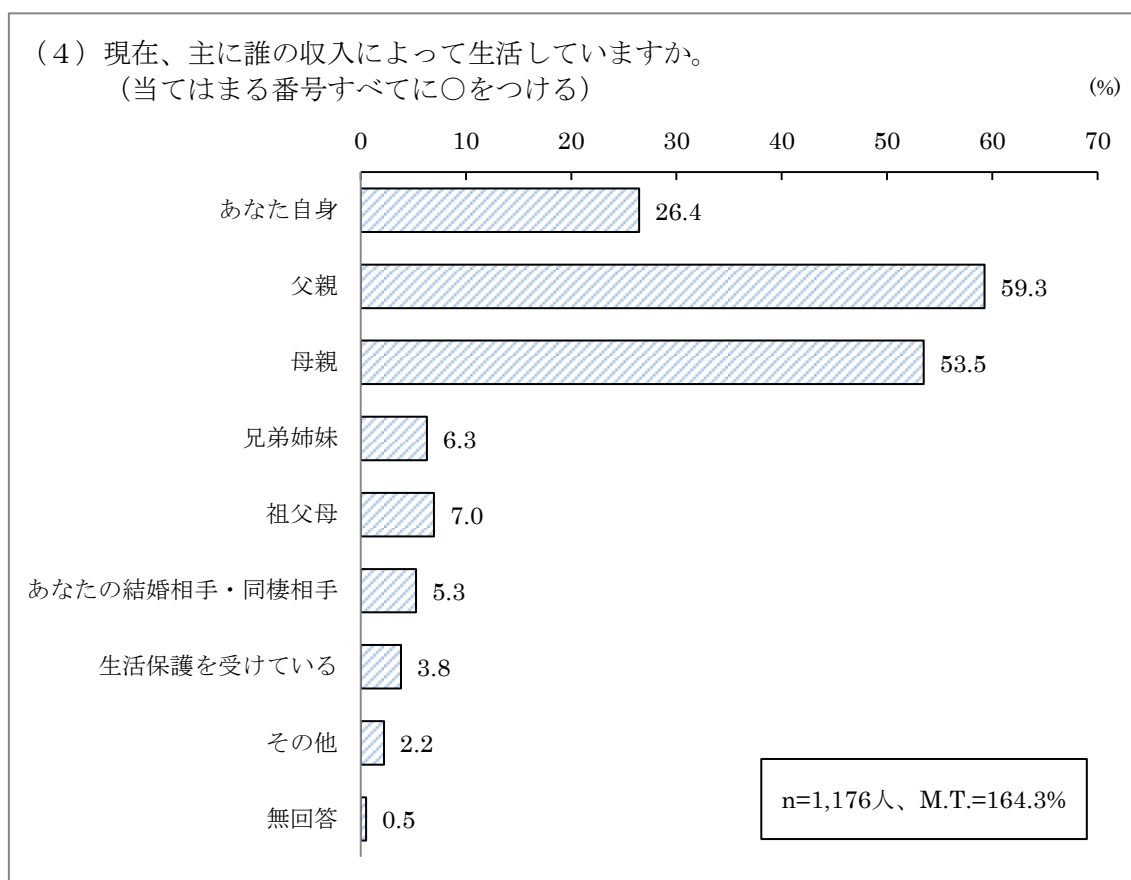
（注）集計及び分析に当たっては、「その他」として人間以外の者（ペット等）及び友人と回答した者について、無効回答として本集計「その他」のnから除いている。

14 婚姻状況（n=1,176）



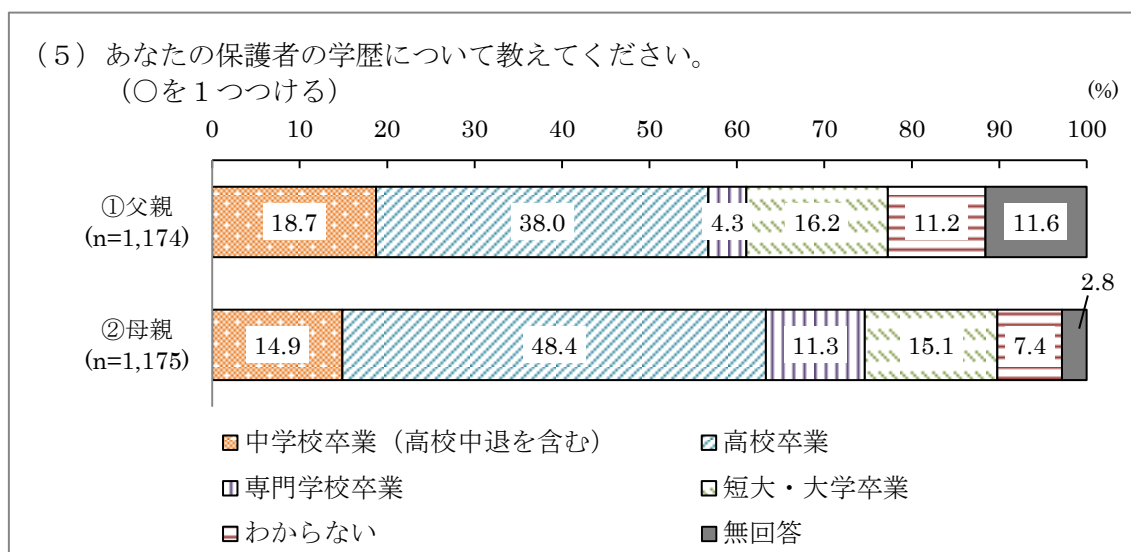
婚姻状況は、「結婚していない」93.0%となっている。

15 主な収入源（複数回答）



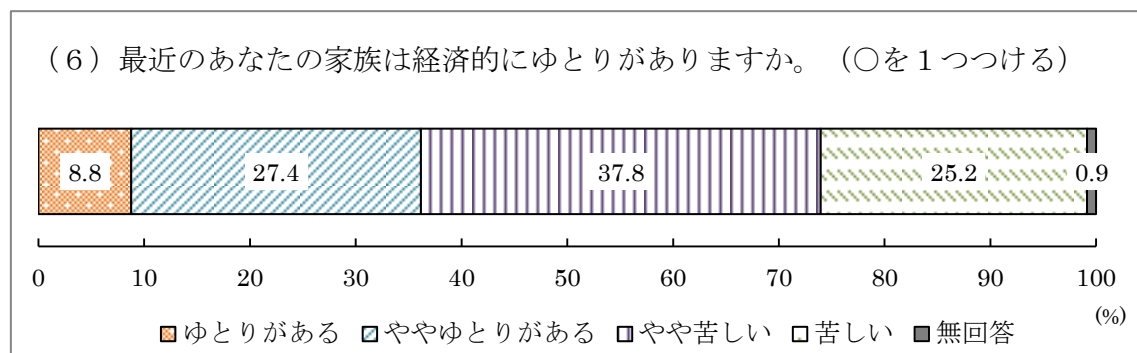
主な収入源は、「父親」59.3%、「母親」53.5%となっている。一方で、「生活保護を受けている」と回答した者は3.8%となっている。

16 保護者の学歴



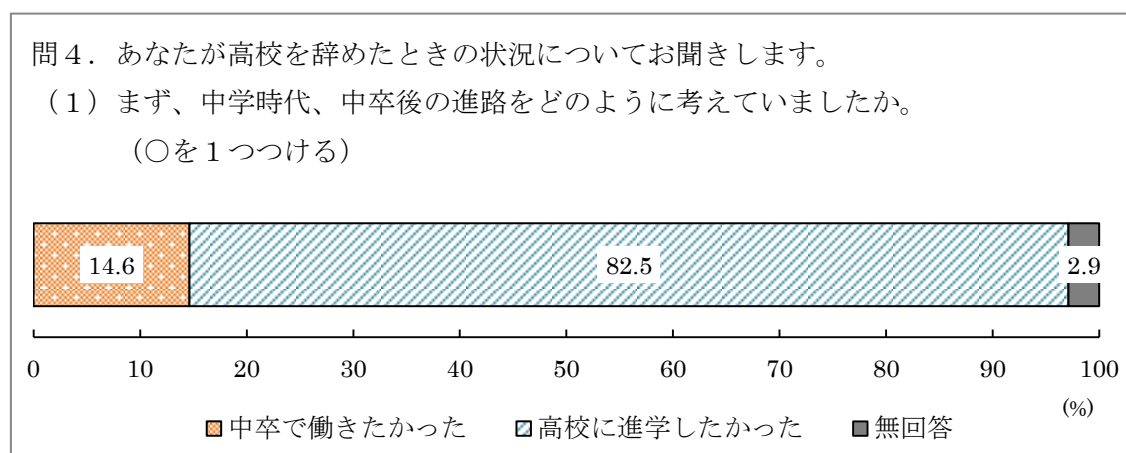
保護者の学歴は、「高校卒業」が最も多く、父親38.0%、母親48.4%となっている。「短大・大学卒業」は、父親16.2%、母親15.1%となっている。

17 経済的ゆとり (n=1, 175)



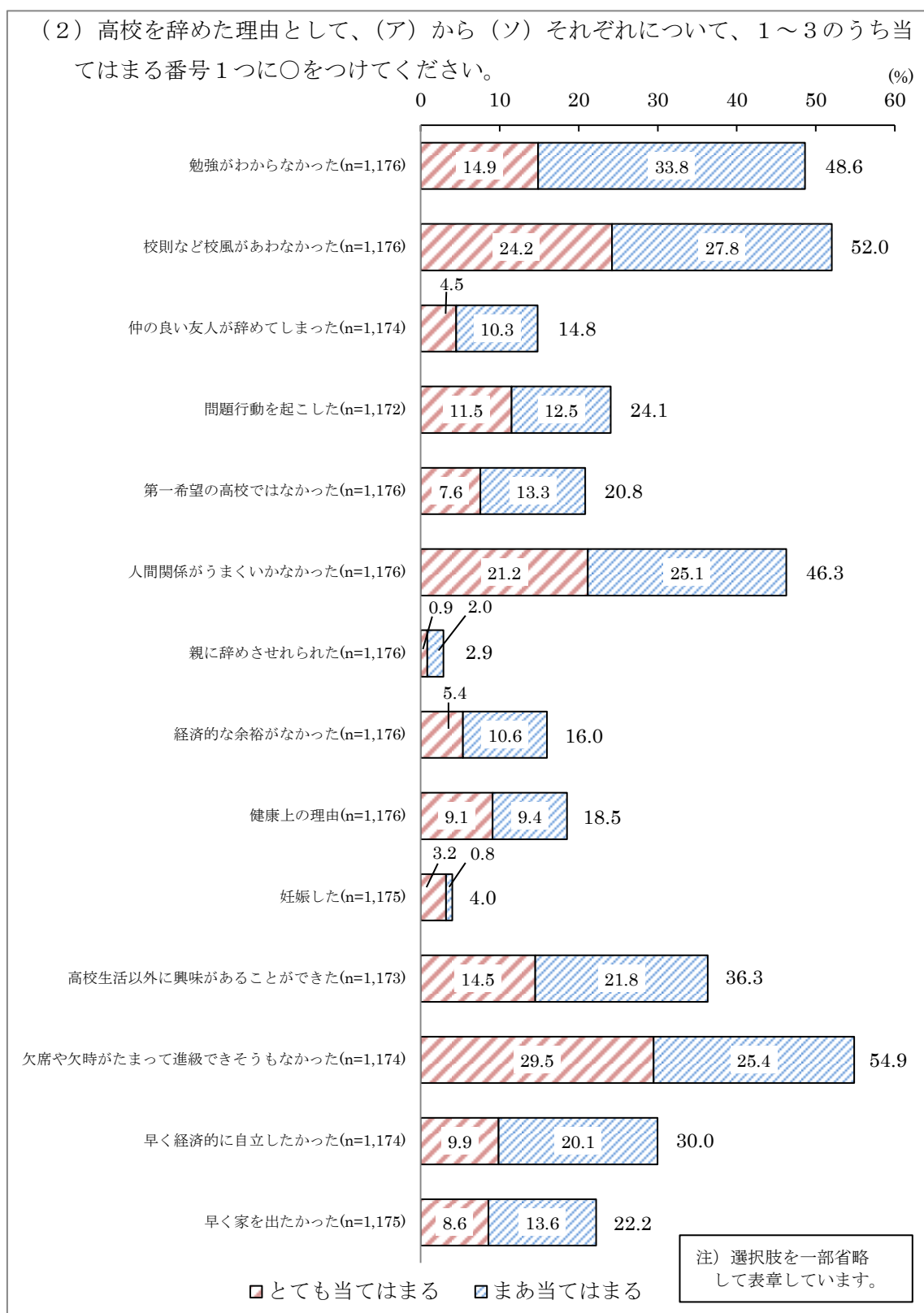
経済的ゆとりは、「苦しい」(25.2%)、「やや苦しい」(37.8%)と回答した者の合計が63.0%となっている。

18 中学時代、中卒後の進路をどのように考えていたか(n=1, 175)



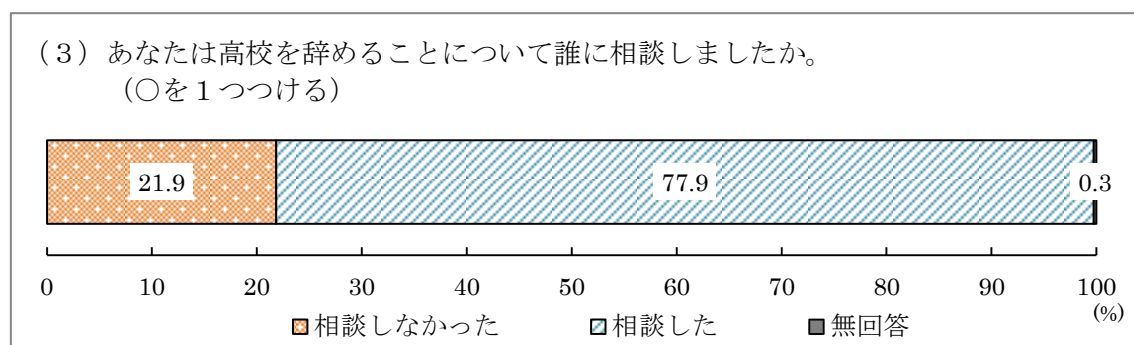
「中学時代、中卒後の進路をどのように考えていたか」は、「高校に進学したかった」82.5%となっている。

19 高校を辞めた理由（「当てはまる」と「まあ当てはまる」の計）

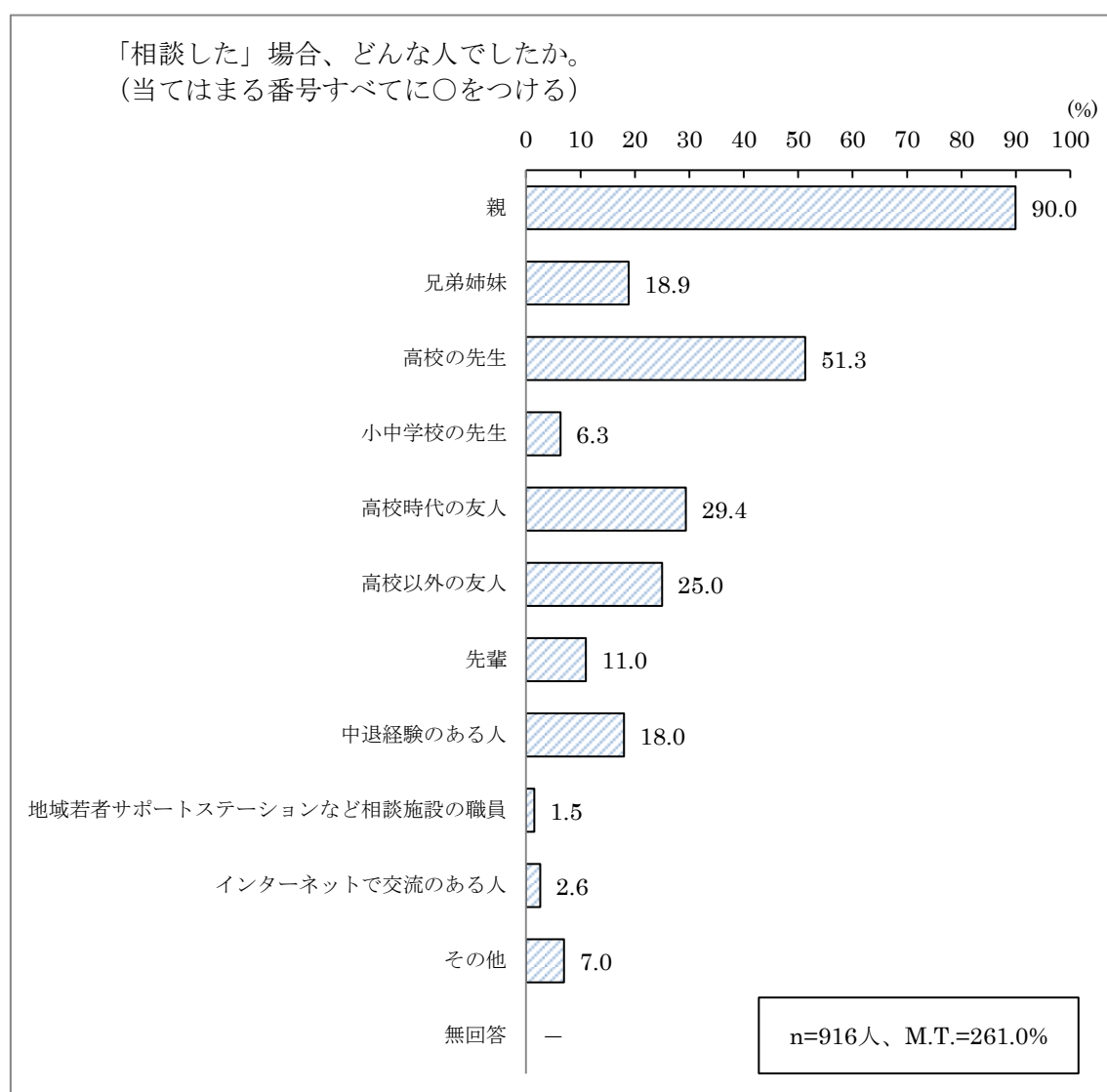


高校を辞めた理由（「とても当てはまる」と「まあ当てはまる」の計）は、「欠席や欠時がたまって進級できそうもなかったから」54.9%、「校則など校風が合わなかったから」52.0%、「勉強がわからなかったから」48.6%、「人間関係がうまくいかなかったから」46.3%の順となっている。

20 高校を辞める際の相談の有無(n=1,176)・相談した人

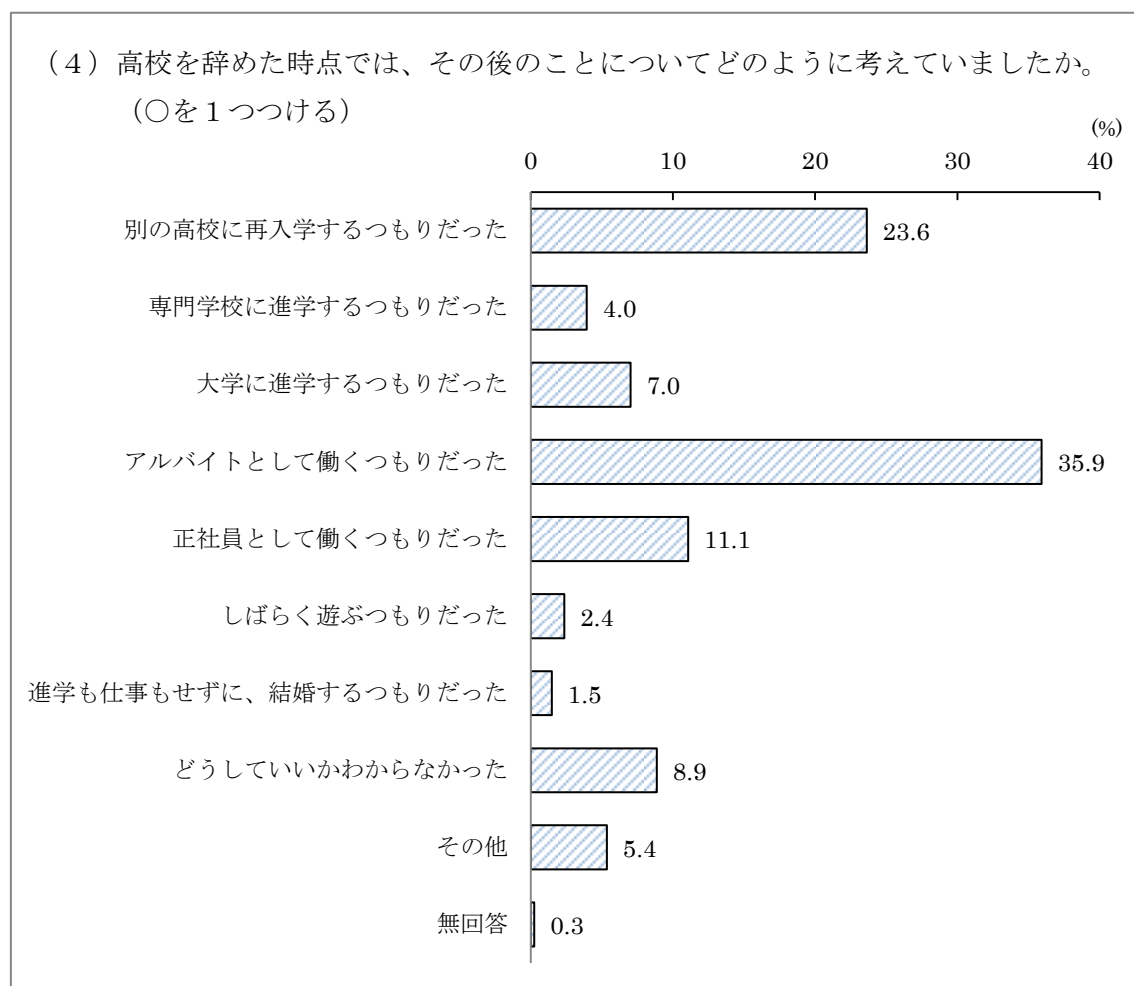


高校を辞める際の相談は、「相談した」77.9%となっている。



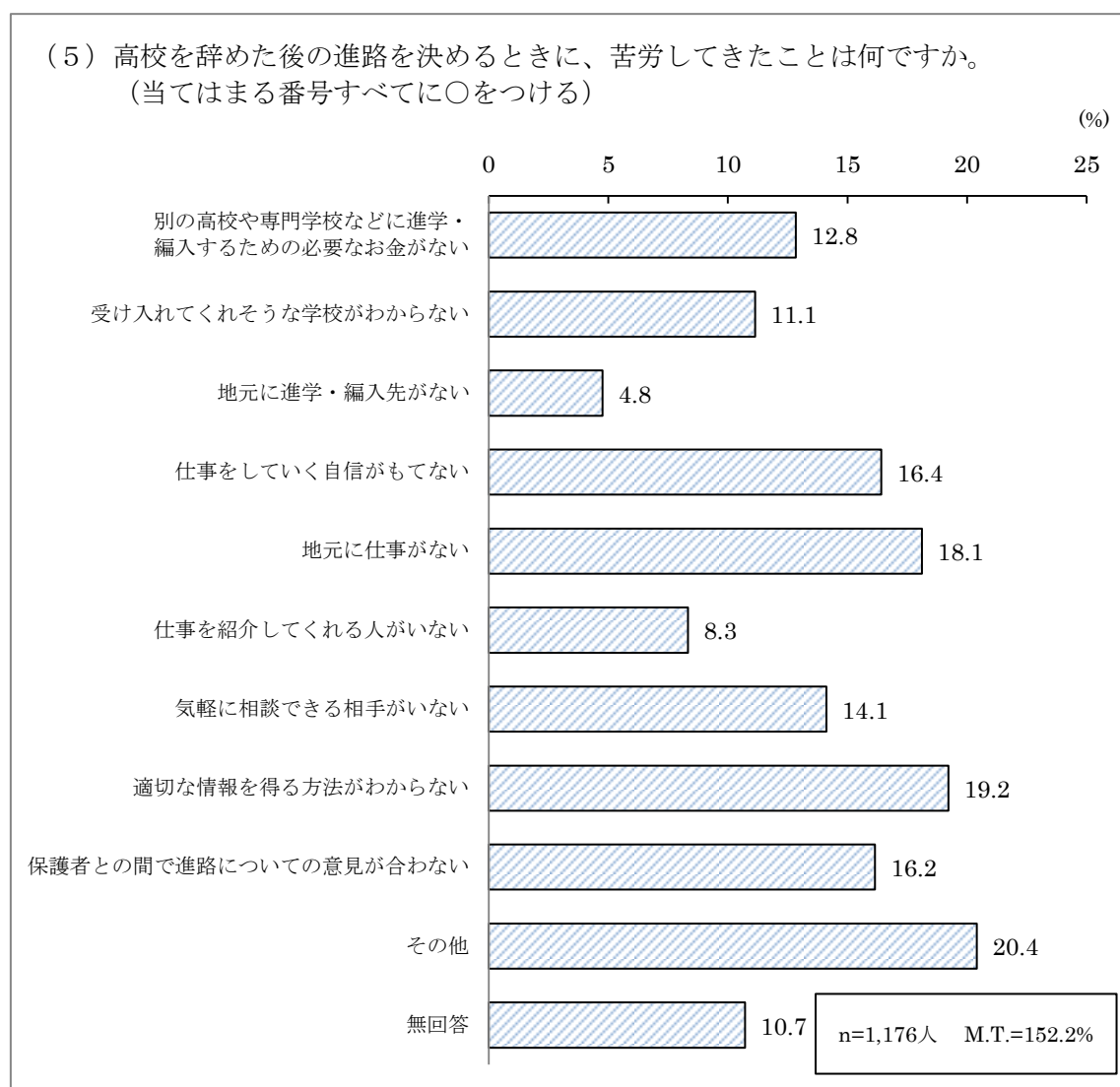
高校を辞める際の相談相手は、「親」90.0%、「高校の先生」51.3%となっている。

21 高校を辞めた時点での将来の見通し(n=1, 138)



高校を辞めた時点での将来の見通しは、「アルバイトとして働くつもりだった」35.9%、「別の高校に再入学するつもりだった」23.6%となっている。

22 高校を辞めた後の進路決定時に苦労してきたこと（複数回答）

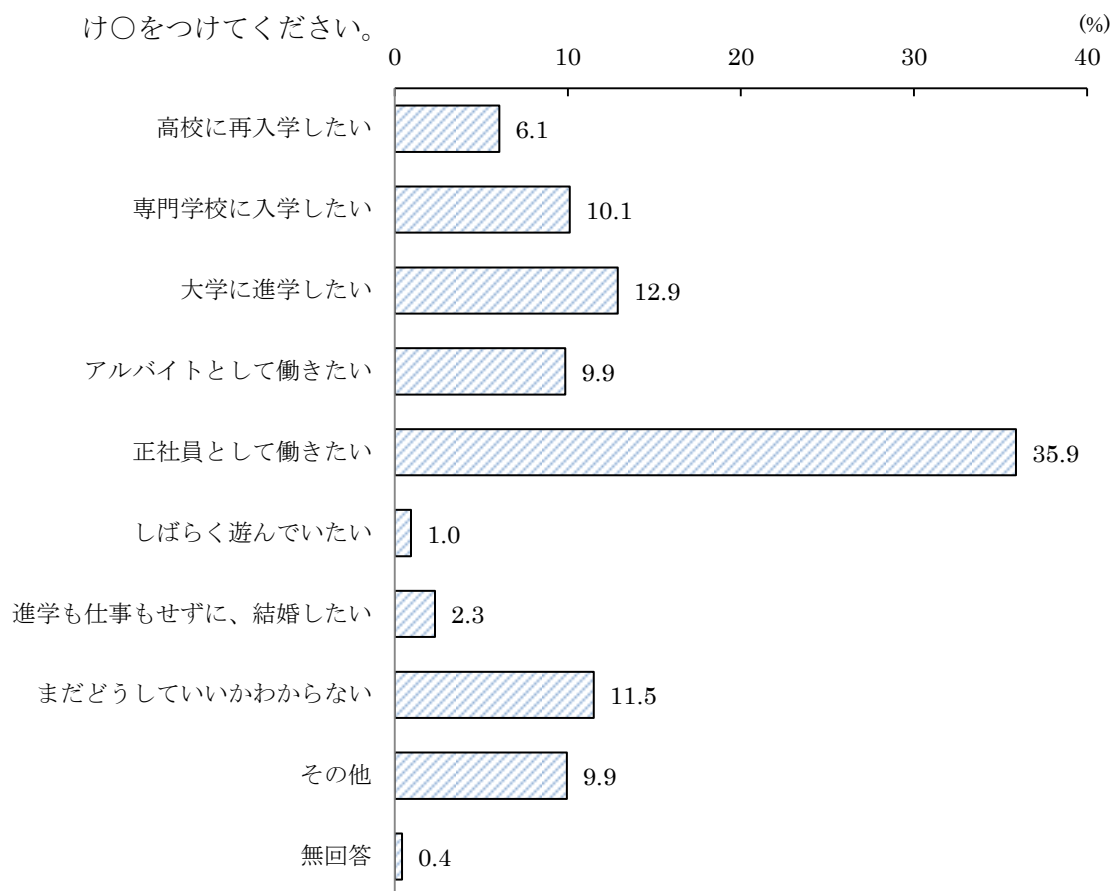


高校を辞めた後の進路決定時に苦労してきたことは、「適切な情報を得る方法がわからない」19.2%、「地元の仕事がない」18.1%、「仕事をしていく自信がもてない」16.4%、「保護者との間で進路についての意見が合わない」16.2%の順となっている。

23 3年後の自分の姿を想像した今後の進路希望(n=1,156)

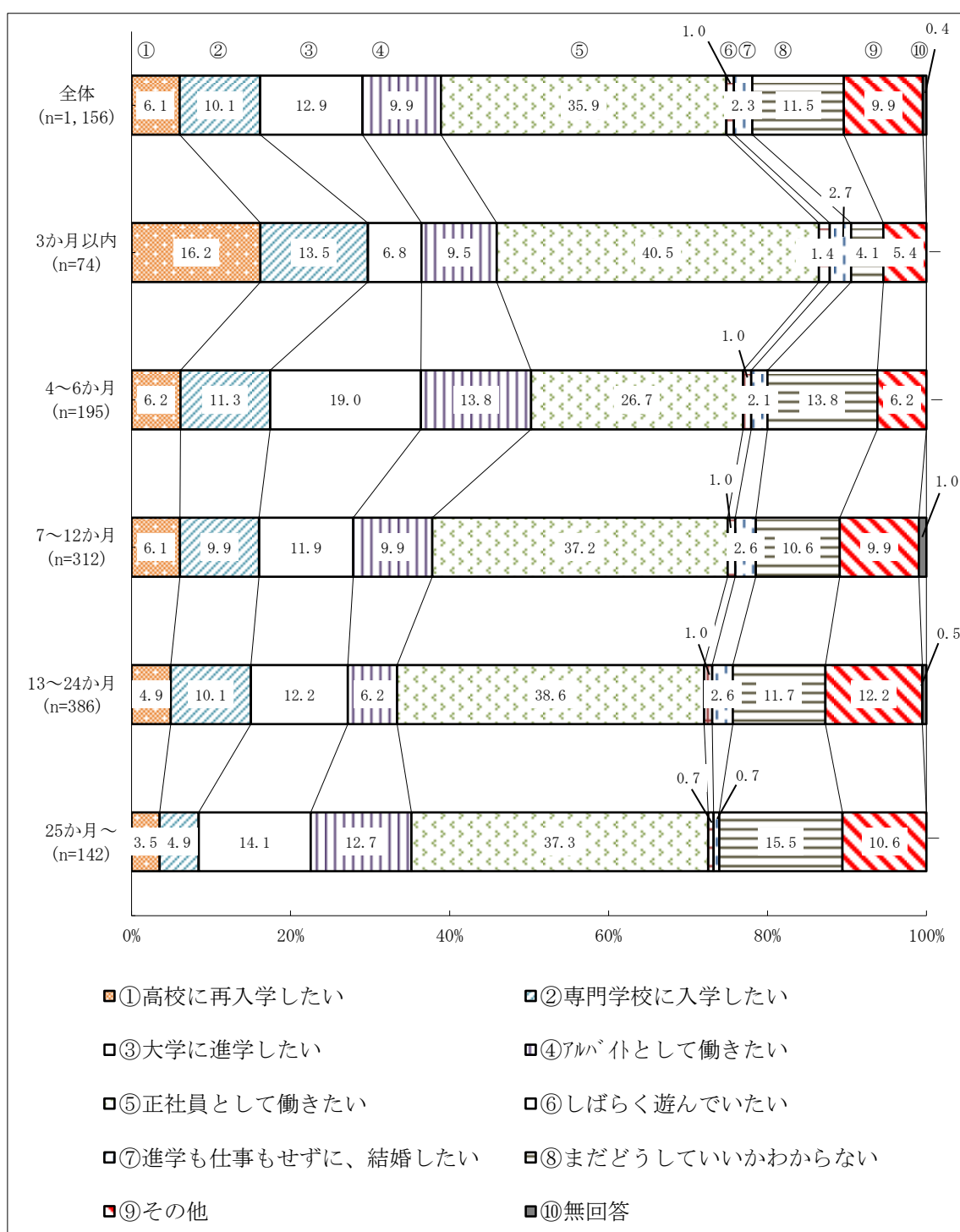
問5. あなたの今後の見通しについてお聞きます。

(1) 今後、どのような進路を希望されていますか。3年後の自分を想像して1つだけ○をつけてください。

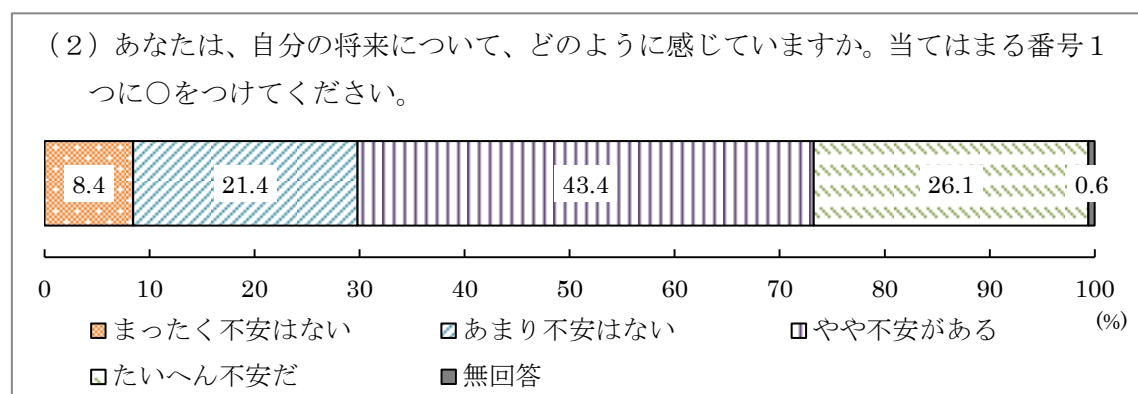


3年後の自分の姿を想像した今後の進路希望は、「正社員として働きたい」が最も多く35.9%となっている。

(参考)「中退後経過期間」と「3年後の自分の姿を想像した今後の進路希望」との関係

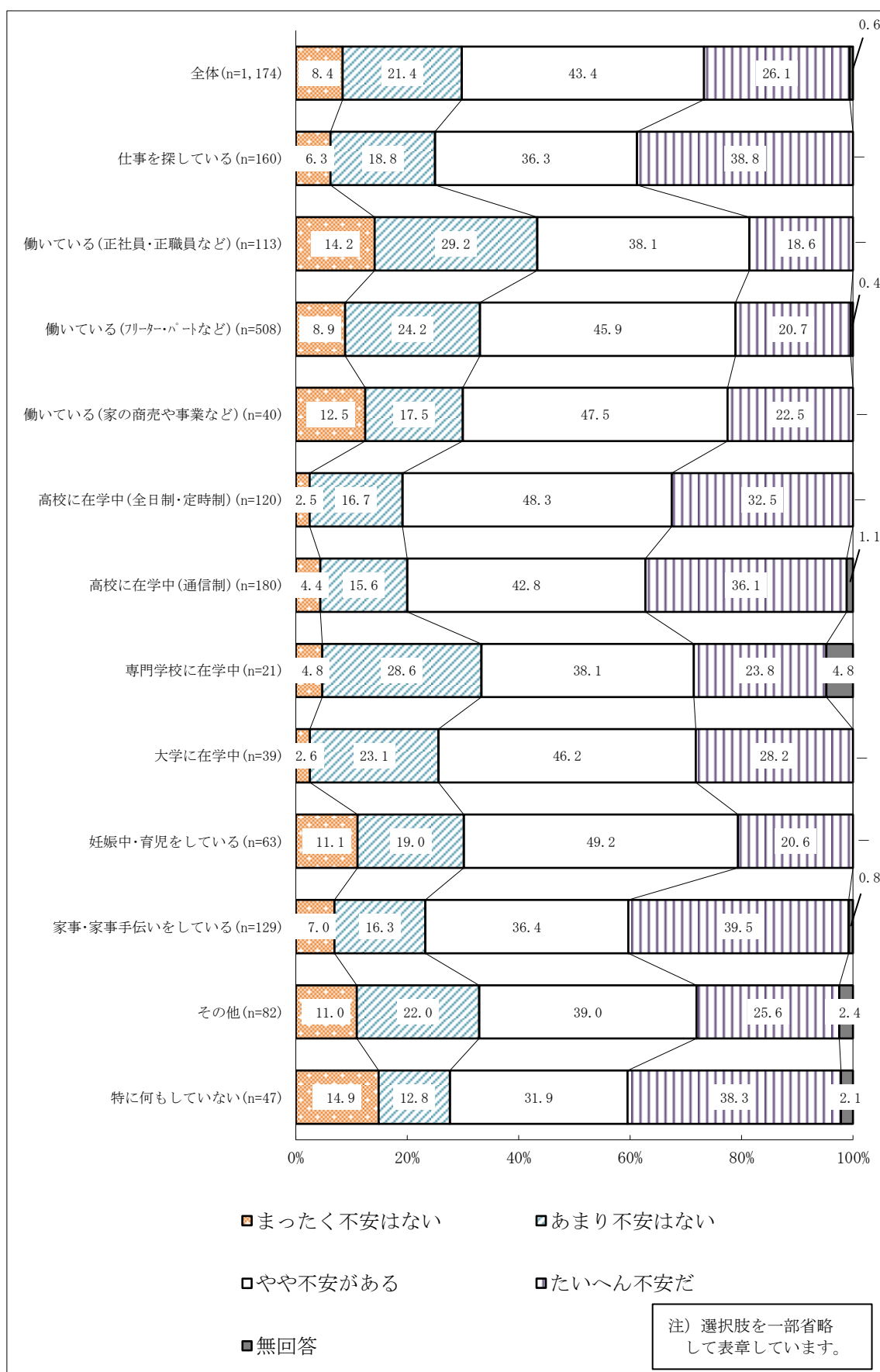


24 自分の将来への不安感 (n=1, 174)



自分の将来への不安感は、「やや不安がある」(43.4%)、「たいへん不安だ」(26.1%)と回答した者の合計が 69.6%となっている。

(参考)「現在していること」と「自分の将来への不安感」との関係

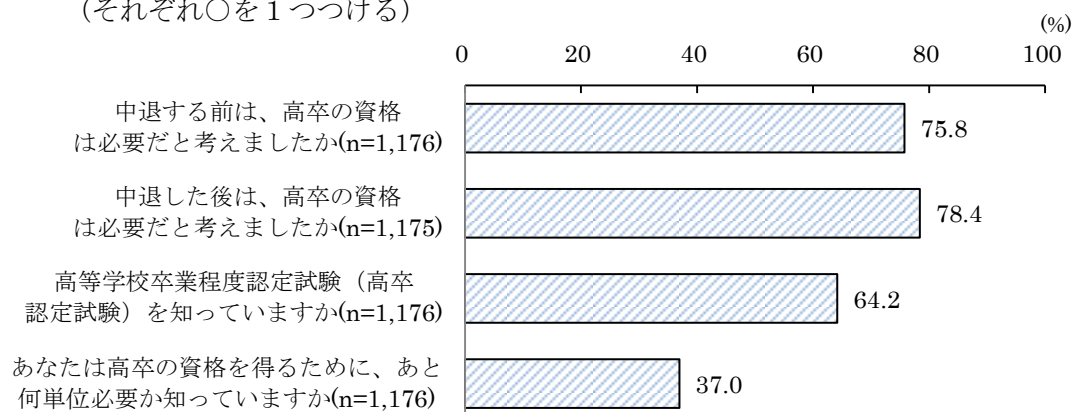


25 資格や支援の必要性

問6. 資格や支援についてお聞きします。

(1) 次の質問項目について、当てはまる番号に○をつけてください。

(それぞれ○を1つつける)

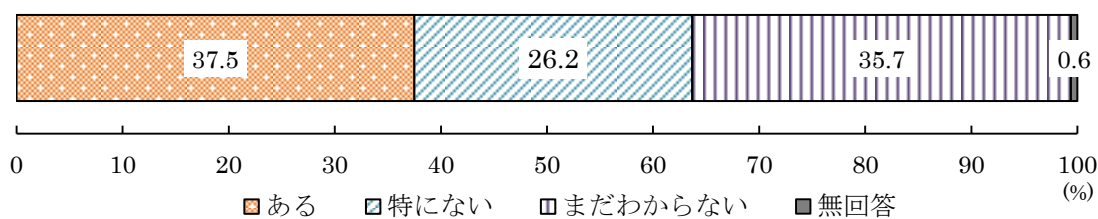


「高卒の資格は必要だと考えましたか」に「はい」と回答した者は、「中退する前」75.8%、「中退した後」78.4%となっている。

一方で、「あなたは高卒の資格を得るために、あと何単位必要か知っていますか」に「はい」と回答した者は37.0%となっている。

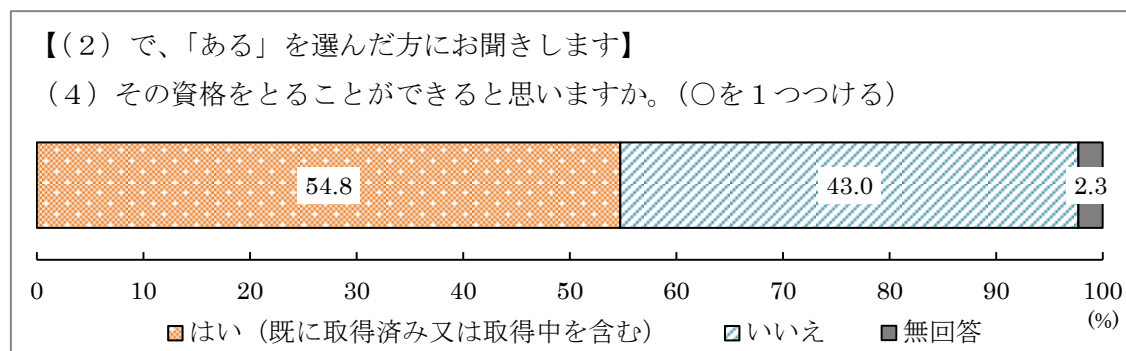
26 職業に関わる資格で取りたいもの(n=1,176)

(2) 職業に関わる資格(例：自動車整備士・美容師など)で取りたいものはありますか。(○を1つつける)



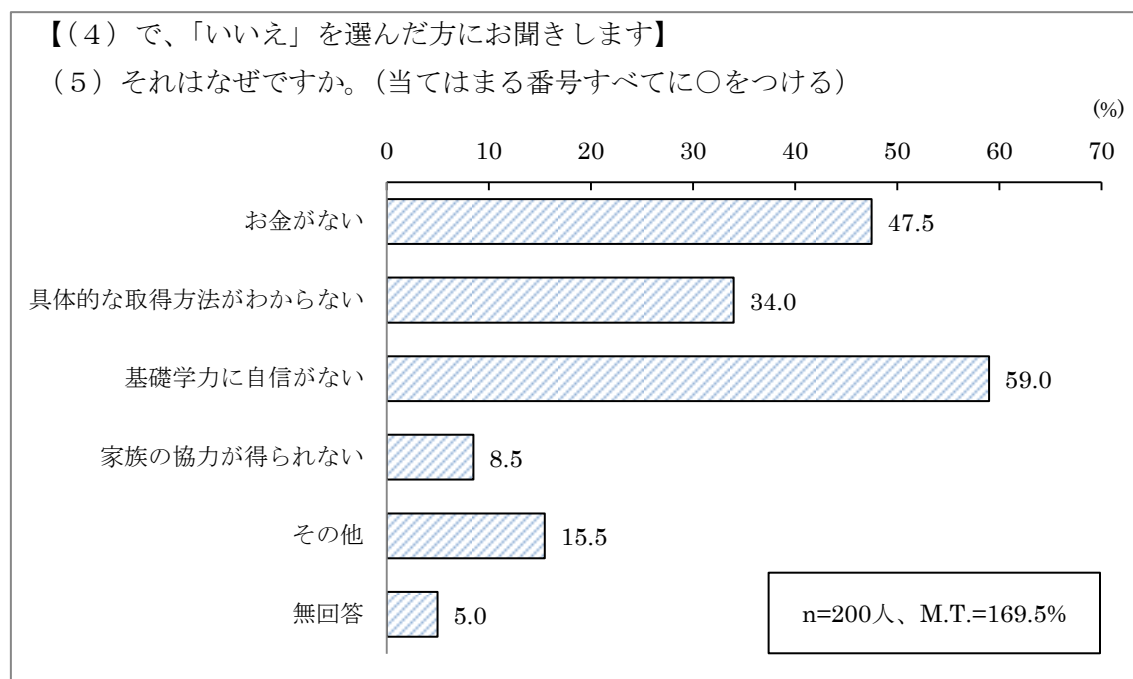
職業に関わる資格で取りたいものは、「ある」37.5%となっている。

27 その資格を取ることができると思うか(n=442)



その資格を取ることができると思うかは、「はい」と回答した者 54.8%となっている。

28 資格が取れないと思う理由 (複数回答)

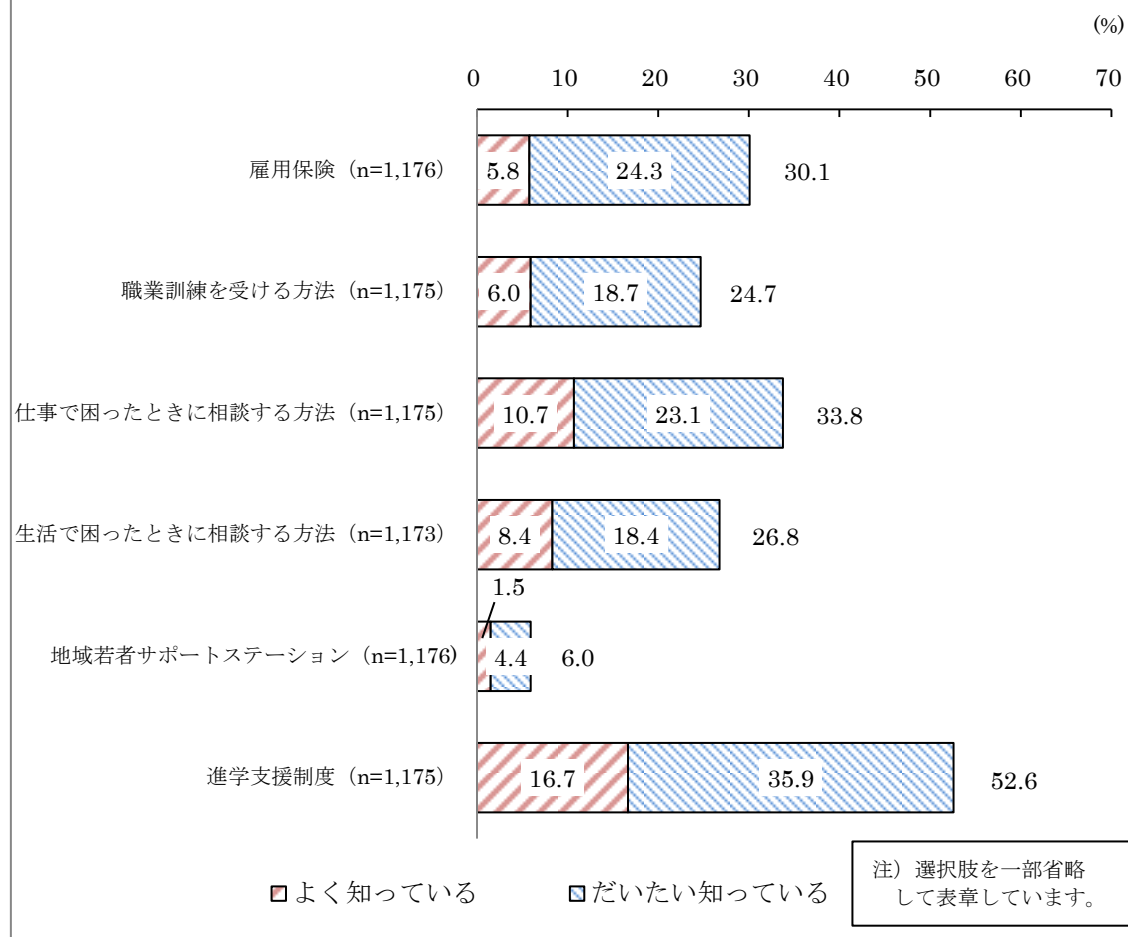


資格が取れないと思う理由は、「基礎学力に自信がない」 59.0%、「お金がない」 47.5%、「具体的な取得方法がわからない」 34.0%となっている。

29 社会サービスに関する認知度

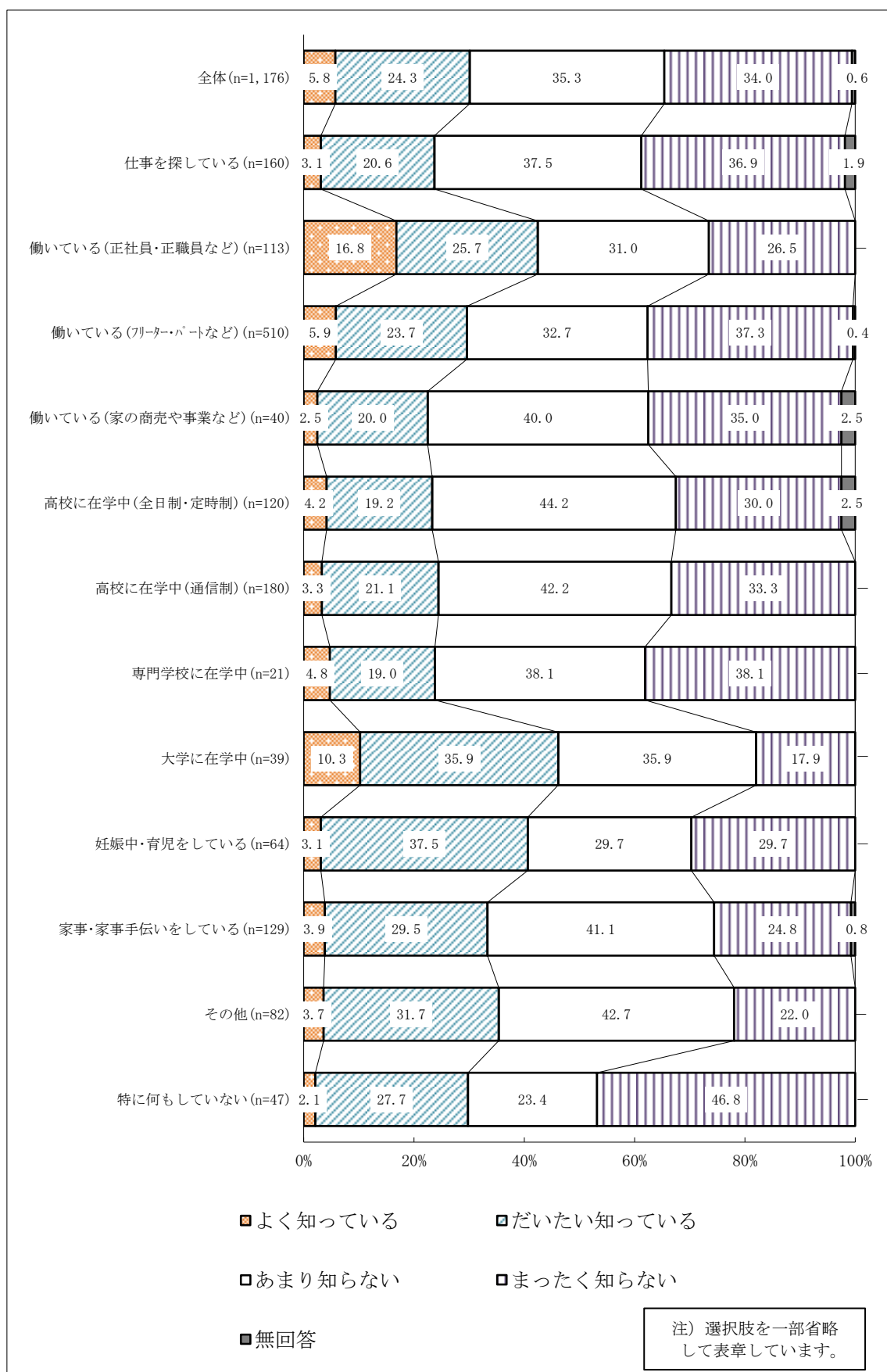
問7. 社会サービスについてお聞きします。

あなたは、次のことについて、どのくらい知っていますか。(ア) から (カ) それぞれについて、1～4のうち当てはまる番号1つに○をつけてください。

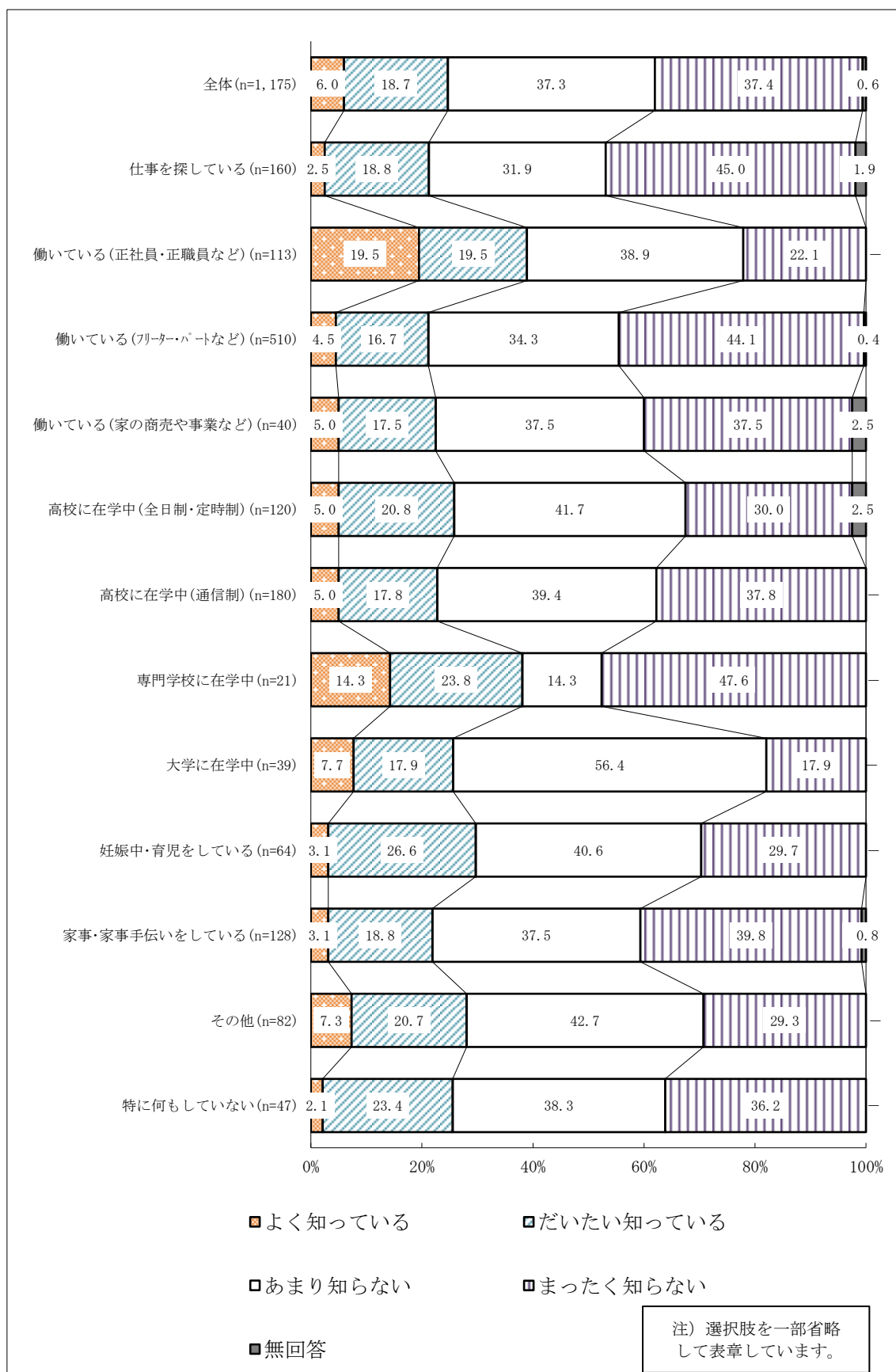


社会サービスに関する認知度（「よく知っている」と「だいたい知っている」の計）は、「進学支援制度」52.6%、「仕事で困ったときに相談する方法」33.8%となっている。

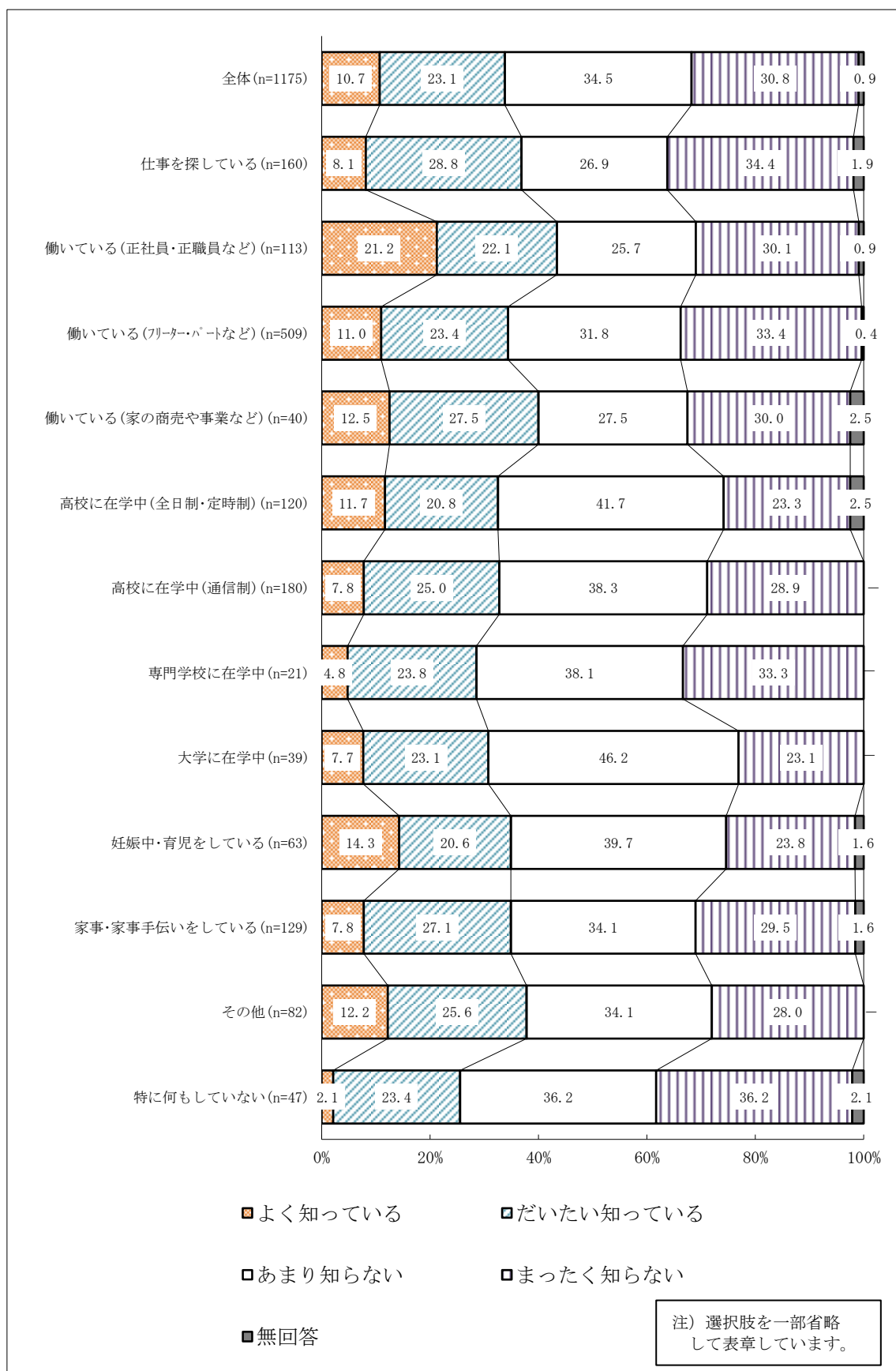
(参考)「現在していること」と「社会サービスに関する認知度(雇用保険)」との関係



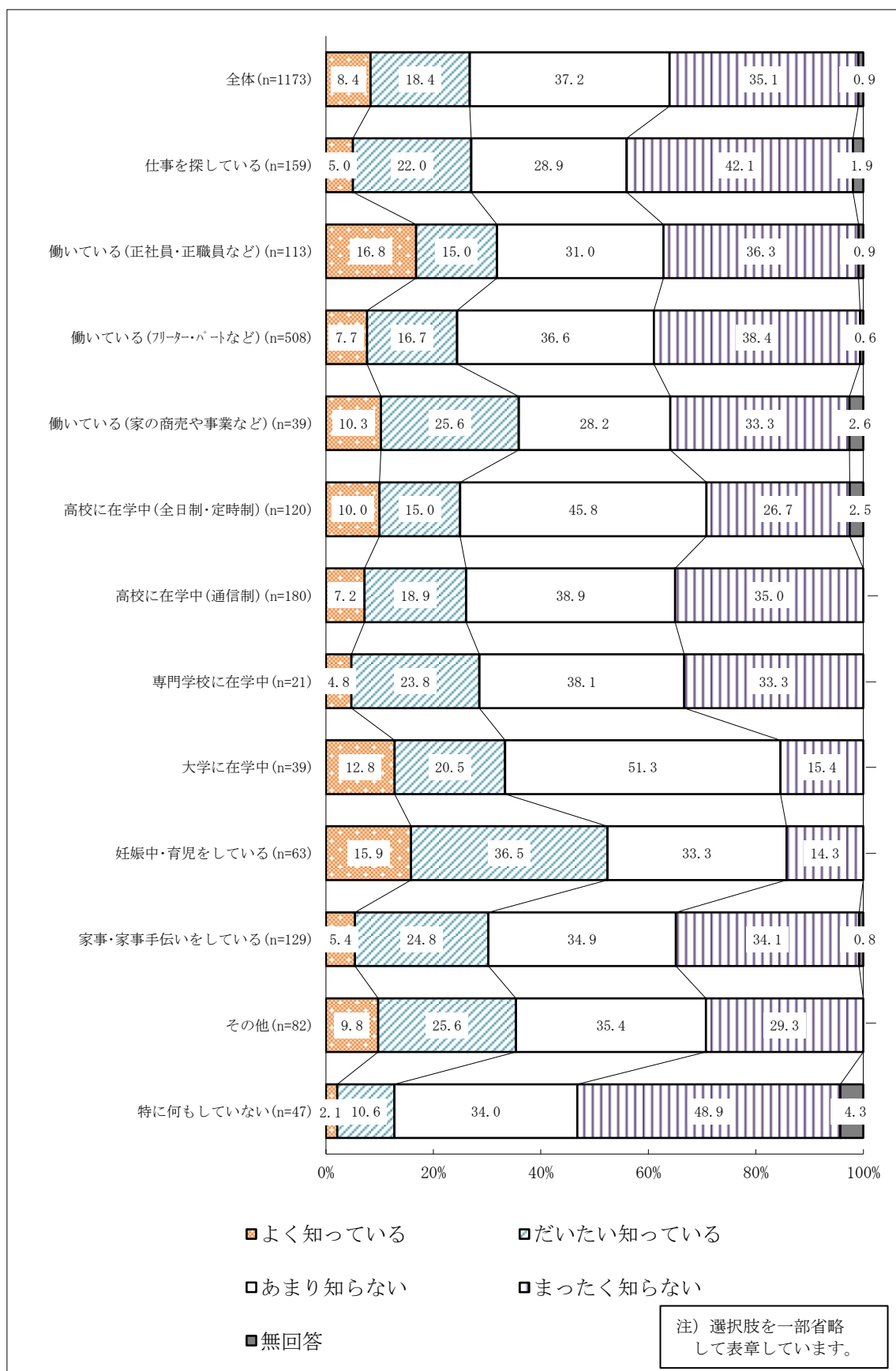
(参考)「現在していること」と「社会サービスに関する認知度(職業訓練を受ける方法)」との関係



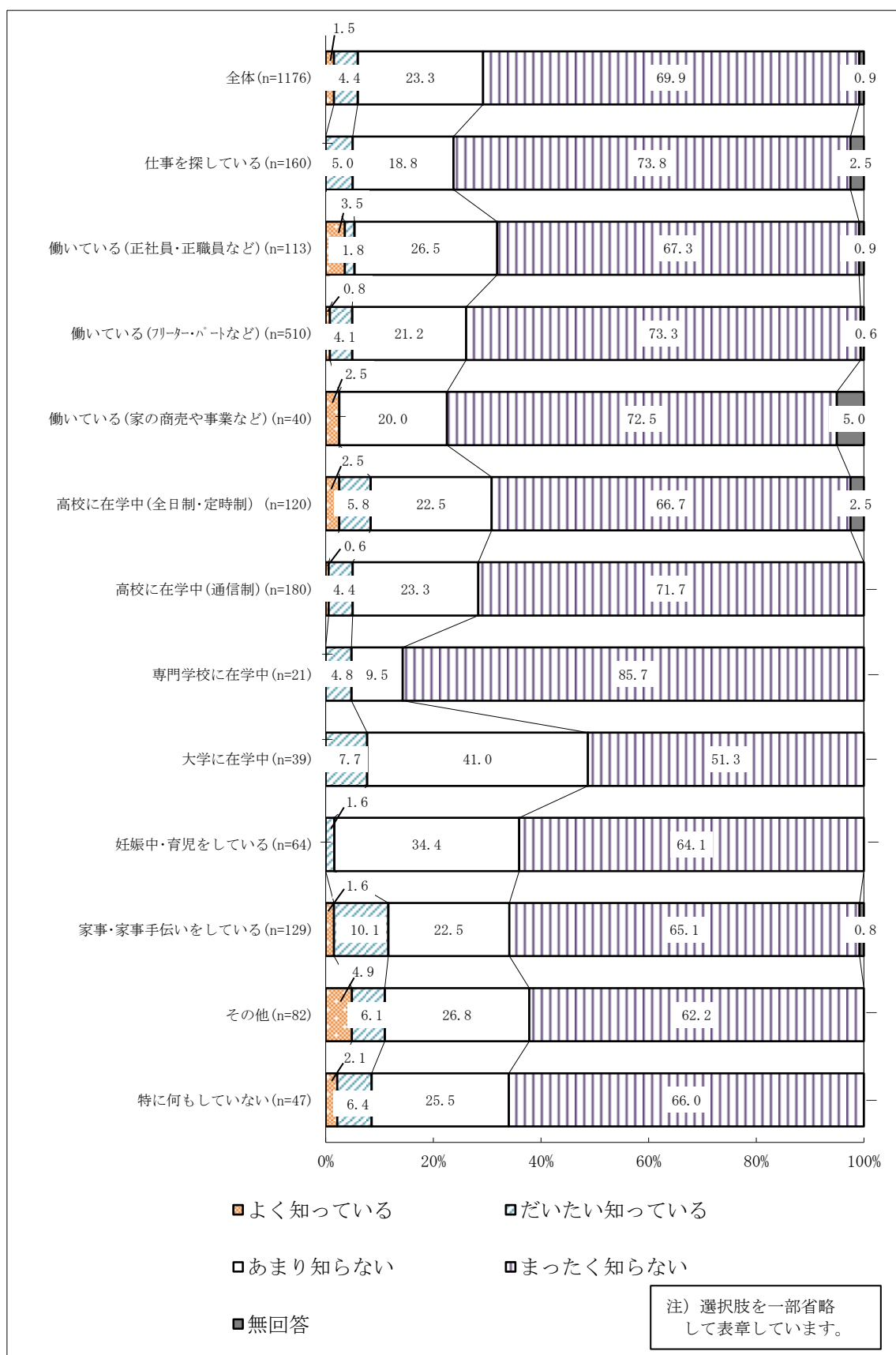
(参考)「現在していること」と「社会サービスに関する認知度(仕事で困ったときに相談する方法)」との関係



(参考)「現在していること」と「社会サービスに関する認知度(生活で困ったときに相談する方法)」との関係



(参考)「現在していること」と「社会サービスに関する認知度(地域若者サポートステーション)」との関係



(参考)「現在していること」と「社会サービスに関する認知度(奨学金・高校授業料無償などの進学支援制度)」との関係

